

価値ある未来を、共に



吉川市長 中原 恵人



この8年の間に4回の「避難発令」！ 吉川市の目の前に迫っている水害！

- ① H27年9月10日 台風18号
午前0時10分「避難準備」発令
午前4時20分「避難勧告」発令
- ② H29年10月23日 台風21号
午前7時「避難準備」発令
- ③ R1年10月12日 台風19号
午後1時「高齢者等避難」発令
午後11時30分「避難勧告」発令
- ④ R5年6月2日 台風2号
午後8時15分「高齢者等避難」発令
翌午前1時20分「避難指示」発令



避難発令について

■今回の6月2日、3日の台風2号における「高齢者等避難」は20時15分に発令。当該地区への「避難指示」はその後、夜中の1時20分に発令しました。

■「避難指示」等の発令は、中川の水位、今後の雨量、潮の満ち引き、道路の冠水状況、時刻などを考慮し決定しますが、目安として、中川の水位が3.7mに達すると「高齢者等避難準備」を、4.1mに達すると「避難指示」を、当該地区へ発令することになります。(江戸川においてはそれぞれ8.5m、9.1m)

■左に記したようにこれまでの「発令」においては、発令時間が夜中になることが多くあります。

■台風の接近は数日前から分かるので、お一人お一人が情報をキャッチし、準備をしておくことが重要となります。



中曽根小学校校区での避難訓練

情報の入手方法

■今回、市のHPがアクセスしづらい状況となり、多くの方々に、ご迷惑、ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。速やかに契約を見直し、現在は十分な容量を確保しています。

■防災無線はこれまでに大きな予算を投入し、デジタル化(約3.7億円)などの整備を行ってきましたが、風雨や時間によって聞こえない場合もあり、100%聞こえるようにするのは不可能です。そこで、その内容が確認できる電話番号048・983・6430を設置していますのでご利用ください。

また、防災無線の内容をはじめ吉川市の災害情報は、

- 「市長の公式ツイッター」
- 「吉川市公式ホームページ」
- 「吉川市公式Twitter」
- 「吉川市防災・防犯メール配信」
- 「吉川市減災アプリ」
- 「テレビのdボタン地域の防災」
- 「吉川市防災マップ」

安全・安心メール登録用アドレス p-yoshikawa@s7.bmb.jp
※自動登録システムにより24時間いつでも登録することができます。



等から入手できます。

また、河川の情報「国土交通省 川の防災情報」などから入手出来ます。



吉川市の災害対策には自衛隊も応援に



私も市内の冠水状況を確認



緊張感に包まれる対策会議



夜を徹しての水害対応



私もポンプ設置の現場へ



道路を塞いでしまった故障車



台風後も中川の水位を注視

避難所について

■今回は「関小学校・吉川小学校・中曽根小学校」と「吉川中学校」、そして医療的ケアが必要な方を受け入れる「児童館ワンダーランド」の5ヶ所を避難所として開設。計238名が避難されました。また越谷市増林地区センターへは29名の吉川市民が避難されました。

■水害等の避難所の開設情報はホームページ等でお知らせします。

■避難する場合は、貴重品、薬、飲料水や非常食、衣類、ティッシュ、タオル、懐中電灯など、それぞれに必要な物品の持参をお願いします。

■ペットは各避難所で受け入れていますが、別室となります。

■道路冠水の状況や時間帯によっては、逆に避難所への避難が危険なこともあります。自宅2階などへの垂直移動でも命を守る避難となります。

■すべての避難所の開設、運営を市役所の職員で行うことは、人数的に難しいのが現実です。今回も吉川中学校の避難所開設は急遽決定したため、開設が遅れました。今後も、地域の「自主防災組織」「自治会」による避難所の開設・運営訓練を進めてゆきますので、ご参加、ご協力をよろしくお願いします。

※ 令和5年度の「減災プロジェクト」は栄小学校区で11月に開催予定です！

冠水

■今回の総雨量は305ミリ。前回「避難勧告」を発令した令和元年の台風19号時より約100ミリも多い雨量となりました。

■吉川市では、「国の管理する中川」や「県が管理する大場川」の水量がいっぱいになってしまうと、市内に降った雨水を吐き出すことが出来ません。■そうした中、三郷市にある国交省の施設である「三郷排水機場」のポンプが故障してしまいました。■「三郷排水機場」は中川の水を江戸川に排出し、中川の水位を下げる役割を果たすのですが、今回、そのポンプ故障により中川の水位を下げることに影響が出ました。■また、故障を直している間、中川の水を大場川を経由して江戸川に排出するということも行われましたが、そうしたことも吉川市内の冠水に無影響ではなく、今回吉川市では20件の床上浸水が発生してしまいました。■先日、江戸川河川事務所の守安所長が来庁された折には、中川と大場川の水量問題は吉川市にとって死活問題であることを重ねてお伝えさせていただき、今後の対応をお願いしました。



ポンプが故障した「三郷排水機場」

■吉川市においては、今年3月に市内の雨水を排出する大ポンプ1台(約5000万円)と中ポンプ6台(約1500万円)を増強決定しており、それぞれ6月13日、7月3日に納品。さらなる排水体制を整備しています。また、地中の排水管の改良整備を行うことで吉川駅北口周辺の冠水を減少させる整備計画も進めています。

■短期での対策としては、職員が「土のう」を作り、各地域に「土のうステーション」を設置していますので、道路面との高低差が低く、今回床上浸水となってしまった店舗の方々など、台風時にはぜひご活用いただければと思います。

■また、今回は、冠水した道路において車が動かなくなり、雨が去った後も車を移動できず、道路が通行止めになるという状況がありました。道路冠水時の車移動には十分にご注意ください。



「土のう」をつくる職員